



代表理事組合長
山内 清久

平素は、JAめぐみの各事業に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症はワクチンの接種が開始されたところではあるものの収束にはまだまだ時間を要することが思料され、この間罹患された方はもとより、コロナ禍の影響を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、感染拡大の防止に尽力されてみえます関係各位の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、世界規模で感染が拡大した新型コロナウイルスは、日本においても終息を見ないまま1年を超える時が経過し、企業活動や消費者行動は大きな変化を余儀なくされ、ワクチン投与が開始された今なお今後の見通しは不透明な状況にあります。

こうした状況の中で令和2年度は、農業祭や女性部大会、年金友の会統一旅行や各種スポーツ大会、親子農業体験など、多くの方にお集まりいただくイベントは残念ながら中止の判断をさせていただきました。コロナ禍の中での厳しい事業展開を余儀なくされましたが、初のクラウドファンディングやインターネットを活用した農産物販売の強化、無料職業紹介事業の継続実施やスマート農業の提案に努め、中部学院大学との連携による農産物地産地消PR動画の制作も行いました。経営管理面では、LPガス事業等の事業譲渡や支店再構築も継続的に実施し、経営基盤の強化を図りました。

また、近年多発する集中豪雨や台風などが引き起こす自然災害は、農作物や農業施設にも大きな被害を発生させ、組合員の農業経営に大きな打撃を与えていることから、今期、新たに【農業振興・支援積立金】を新設させていただきました。

令和3年度は当組合で掲げた3か年計画の最終年度となります。

基本方針として定めた「農業所得増大の実現」、「協同による持続可能な農とくらし・環境の確保」、「総合事業機能発揮による経営基盤の確立」の達成に向けて、役職員一同、一意専心して事業活動に邁進して参ります。

おわりに、組合員・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和3年7月